

R5. 10. 22

参加してきました。

共同主催：(一財)山形県理化学分析センター、(特定非営利活動法人)環境生態工学研究所 (E-TEC)
※活動の開催・開催等は固くお断りいたします。

第9回
限定公開

美しい地球環境講座

開催のお知らせ

一般財団法人山形県理化学分析センターでは広く環境問題に関する視野を持つべく、故須藤隆一先生(特定非営利活動法人環境生態工学研究所初代理事長)をお招きして8年間にわたり勉強会を開いておりました。その先生の想いを引き継ぐために勉強会を『美しい地球環境講座』とあらためて、定期的に関連しております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 10:00 ~ 11:30
2023年 10月22日(日)

講座終了後に芋煮会を行います! (申込必要)

「これからのプラスチックとの付き合い方」

日本国内でのプラスチック資源の有効活用については、これまで以上に国内資源確保が求められている。海外における廃プラスチックの輸入規制の拡大によって輸出に依存していた廃プラスチックの行先確保が喫緊の課題となっている。一方、国内における廃プラスチックリサイクルフローは現状のシステムでは飽和状態となっており、新しい廃プラスチックの資源循環ルートの確保が望まれる状況である。こうした状況の中で、日本に留まる資源外においてもプラスチックのケミカルリサイクルへの期待が拡大しており、また海洋汚染対策やカーボンニュートラルの観点からもバイオプラスチックの導入が進められてきている。ここでは、プラスチックのケミカルリサイクルに関する設備メーカーとの可能性について、またリサイクルも含めたバイオプラスチックとの付き合い方について述べる。

講師：吉岡 敏明 (東北大学大学院環境科学研究科 教授)

東北大学工学部分子化学工学科助手、同大学院工学研究科講師、同助教授、同環境保全センター助教授を経て、東北大学大学院環境科学研究科教授に就任、現在に至る。2014年から2018年まで「環境工学研究科」の研究科長、2021年より総長特任補佐。博士(工学)(東北大学)

開催方法 ハイブリット開催 (参加費無料)
※下記会場対面式とオンライン配信

定員 会場：40名
オンライン：100名

会場 (一財)山形県理化学分析センター (別紙参照)

申込方法 以下の URL もしくはQRコードの Google フォームに必要事項を記入しお申込み下さい。
<https://forms.gle/pH9GjfsNEVpF9ZDdA>

備考 会場にご来場の方限定で、希望者には環境活動への参加を証明する [BEFORE CARD] を配布いたします。詳細は E-TEC の HP 参照。

申し込みフォーム

お問い合わせ
特定非営利活動法人環境生態工学研究所 TEL：022-293-2281
〒984-0051 FAX：022-349-9574
仙台市若林区新寺一丁目 5-26-104 Mail：e-tec@world.ocn.ne.jp E-TEC ホームページ Twitter